

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
平成 25 年度第 6 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 2 月 1 日 (土)  
午後 13 時 00 分から午後 16 時 30 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 8 階 843 号室  
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 15 名 (定足数 11 名 会議成立)  
出席監事 1 名  
オブザーバー 5 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員  
理事 津田 敏隆  
理事 川幡 穂高  
理事 木村 学  
理事 中村 正人  
理事 奥村 晃史  
理事 北 和之  
理事 古村 孝志  
理事 杉田 倫明  
理事 瀧上 豊  
理事 田近 英一  
理事 成瀬 元  
理事 畠山 正恒  
理事 濱野 洋三  
理事 松本 淳  
理事 渡邊 誠一郎  
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー

男女共同参画委員会委員長 小口千明  
宇宙惑星科学セクションプレジデント 大村善治  
固体地球科学セクションプレジデント 大谷栄治  
地球生命科学セクションプレジデント 北里洋  
大気水圏科学セクション幹事 川合義美

午後 13 時 00 分，理事の定数に足る出席があったので，会長津田敏隆は議長席に着き，開会を宣言した。

## 7. 報告事項

### (1) 2014 年横浜大会準備関連報告（濱野理事）資料 P.1-8

2014 年の連合大会について報告があった。現在投稿と参加登録を受け付け中である。大会までの日程，大会期間中の現段階での予定を報告した。29 日にパブリックセッションを開催する。ジオパークは 30 日に開催する。期間中に三階ポスターセッション会場にてプレミアムブックマーケットの開催を検討中である。

大会期間中 5 月 1 日に 25 周年記念式典を執り行う。来賓の祝辞，フェローの表彰を行う。来賓は日本学術会議大西隆会長と，JAMSTEC 平朝彦理事長に祝辞を依頼する。

展示の出展募集についても報告があった。現段階で，募集数を超える申し込みがある。会場自体や会場の使用可能領域が狭くなるため，小さなブースの規格（展示 B）を新設し，対応した。

受付の配置についても報告があった。二階が事前受付済参加者の受付，一階が当日参加者の受付となる。

大会にあわせてその直前に予定している次世代育成事業の報告があった。横浜市共催，JAMSTEC 協力により，次世代育成事業を執り行う。4 月 13 日（日），慶応高校校舎を借りて開催を予定している。また，横浜市長の定例記者会見に，木村副会長が出席を予定する。

同期間で開催する EGU と中継をつなぎ共同セッションを開催したいという案が挙げられた。発表時間との兼ね合いや技術的な問題が解決できれば，検討していきたいとした。

25 周年記念大会であることを，ホームページでよりわかりやすく周知するよう要望があった。事務局が後日対応するとした。

### (2) 役員候補者推薦委員会報告（津田会長）資料 P.9

役員候補者推薦委員会について報告があった。1 月 30 日に第 1 回委員会を開催した。次期の連合の活動について，国際対応，広報活動に重点を置くという戦略に基づき，役員を推薦するよう進めている。理事会後に第 2 回委員会を開催する。

### (3) ジャーナル関連報告（川幡理事） P.10-14

ジャーナル特別国際シンポジウムを二件開催した。合計 10 本程度の Review の投稿が予定されている。2014 年連合大会でのジャーナル特別国際セッションとして現在のところ 12 セッションが採択され開催予定である。2014 年も募集を予定している。

特集号の要望が多いが、従来のような特集号は組まない。オンラインジャーナルであるため、キーワードでの並べ替え機能などを活用する。

1 月 25 日に第 1 回編集委員会議を開催した。PEPS の趣旨や運営方針などを共有した。出席者に、今後のプロモーション案を募っている。後日まとめ、回覧する。

投稿は現在 17 本あり、内 1 本はリジェクト済みである。2013 年大会のコンビーナー推薦の論文も数十本投稿される予定である。

### (4) 25 周年記念事業関連報告（中村理事）資料 P.15-20, 別冊

記念パンフレットの制作状況について報告があった。表紙やデザイン等は決定済みである。サイエンスライターに依頼して、一部の表現を一般読者にもわかりやすいような表現に修正した。最終的には会長と副会長が判断する。

PEPS についての文章を追加してはどうかという案が挙がった。追加する方向で検討する。パンフレット本体とは別に A4 大の別紙に役員などを印刷して挟み込むことも予定している。

### (5) 夢ロードマップ関連報告資料（中村理事） P.21-23

学術会議に提出した夢ロードマップについて、1 月 29 日にとりまとめの委員会が開かれた。理学・工学分野全体のロードマップの改正を検討中である。連合中村理事と土木工学・建築学の依田照彦委員が担当となり、三月末を目途にとりまとめを行う。

### (6) 委員会報告

#### 1. 総務委員会 共催・協賛・後援の承認について（古村理事）資料 P.24

総務委員会より、現在までに承認された本年度の共催・協賛・後援について報告があった。

#### 2. フェロー審査委員会（中村副会長）資料 P.25-26

フェロー審査委員会について報告があった。推薦が 50 名弱あり、現在審査中である。推薦された方のみを審査対象とする。2 月 20 日の審査委員会で決定する。その後理事会で承認を求める。メダルのデザイン等仕様は資料のように決定した。

推薦方法について、セクションからの推薦ができるようにしてほしいという要望があった。また審査委員会とは別に推薦の促進を行う委員会が必要ではないかという案があった。今後の検討材料とするとした。

### 3.男女共同参画委員会（小口千明男女共同参画委員会委員長）別添資料

男女共同参画委員会より，活動報告があった．2014年連合大会にてパブリックセッション「地球惑星科学系研究者のワークライフバランスとキャリア形成」を開催予定である．

「女子中高生夏の学校 2014」より，企画委員の推薦依頼を受けた．また，ロールモデルの原稿を募集中である．

「男女共同参画学協会連絡会」4月を目途に官公庁へ「要望書」を提出することを準備している．この「要望書」の内容を後日理事会で審議事項として提出する予定である．

### (7) 褒賞制度について（津田会長，大谷セクションプレジデント）P.27-30

大谷セクションプレジデントより，固体地球科学セクションで褒賞制度の設置を検討している旨報告があった．規約の原案を作成し，選考委員会などの問題点も討議している．今後詰めてゆく．

また津田会長より，それにあわせて参加学協会の褒賞制度を調査している旨報告があった．固体地球科学セクションだけでなく，連合全体で制度を整え，参加学協会の既存の褒賞制度と重複や拮抗しないようにするのが望ましい．また学協会長会議の理解も求めてゆく．

### (8) その他 国際学会への（木村副会長）資料 P.31-32

AGUの戦略を学ぶため，会長・副会長や国際委員長，事務局等からなる派遣団を組織しAGUを視察することが提案された．今後検討する．その他国際大会との連携は今後も重視してゆく．

## 8. 審議事項

### 第1号議案 会員（正会員）入会承認の件（古村理事）資料 P.33-34

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い，新規入会者を承認した．

### 第2号議案 2014年横浜大会 NASA 招致旅費交付の件（事務局）資料 P.35-37

2014年連合大会にて，NASA Earth Science DivisionのDirectorであるMichael Freilich氏を招待する際の旅費について審議した．審議の結果，今回はエコノミー・ディスカウントクラス相当での交付とするとした．

### 第3号議案 国際対応方針の件（AOGSとのMOUについて）P.38

AOGSとのMOU締結を審議した．MOU草案に関して承認した．連合の会員が，AGU会員でなくてもAGUに会員価格で参加できることを連合のメールニュース等で後日告知

する。

第 4 号議案 特定費用準備資金「日本地球惑星科学連合大会行事開催資金」の積立限度額の算定方法変更（使用目的変更）について （古村理事）資料 P. 39

特定費用準備資金「日本地球惑星科学連合大会行事開催資金」の積立限度額の算定方法の変更を審議しこれを承認した。算定方法の項目として印刷製本費，委託費を設け，全体として会場費，招聘費，システム改修費，印刷製本費，委託費，事務経費の六項目として算定することとした。それに伴い，システム改修費の金額は変更となる。

第 5 号議案 平成 25 年決算報告書および平成 26 年度予算書作成について （北理事）資料別添

1 月 30 日現在での決算予想についての報告があった。12 月 26 日第五回理事会で承認されたとおり，特定費用準備資金（国際化資金（仮称））の金額については約 600 万円を見通している。連合の正味財産増減計算書と平成 25 年科学研究費補助金収支簿とでは簿記形式が異なることも報告された。

なお，川幡理事より今期科学研究費補助金の決算見通しについて補足説明があった。300 万円程度余剰金が見込まれるが，これは論文がアクセプトされ出版となった際に支払うものであることが説明された。

検討中の平成 26 年予算案を確認した。検討中の予算案を踏まえ，各委員会，セクションの要望を確認しながら最終予算作成まで財務委員会により検討する。

第 6 号議案 平成 25 年度事業報告書および平成 26 年度事業計画作成について （古村理事）資料別添

平成 25 年度事業報告書および平成 26 年度事業計画作成状況について報告があった。現段階での平成 25 年度事業報告書および平成 26 年度事業計画書が報告された。平成 26 年度予算書と平成 26 年度事業計画書については 2 月 14 日を締め切りとして再度追加修正を募り，とりまとめの後，次回理事会にて最終案を提出する。理事会にて承認後，3 月末に公益認定委員会に提出する。

第 7 号議案 地学オリンピック「日本地球惑星科学連合賞」設立について （瀧上理事）資料 P. 40

地学オリンピックに「日本地球惑星科学連合賞」を設置することを審議した。また，二万円までを目途に賞状と記念品を提供することを審議した。いずれも承認した。

また，地理オリンピックにも連合の側から同様の賞を設置することを提案することとした。

第 8 号議案 代議員選挙 選挙方法(投票数)について （津田会長）資料 P.73

代議員選挙規則を変更し、代議員選挙における投票数を 5 名から各登録区分の定数へ訂正することが審議された。継続審議することとした。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 16 時 30 分)  
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席議事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 26 年 2 月 1 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 6 回理事会

|      |    |    |   |
|------|----|----|---|
| 出席理事 | 津田 | 敏隆 | 印 |
| 出席理事 | 川幡 | 穂高 | 印 |
| 出席理事 | 木村 | 学  | 印 |
| 出席理事 | 中村 | 正人 | 印 |
| 出席理事 | 奥村 | 晃史 | 印 |
| 出席理事 | 北  | 和之 | 印 |
| 出席理事 | 古村 | 孝志 | 印 |
| 出席理事 | 杉田 | 倫明 | 印 |
| 出席理事 | 瀧上 | 豊  | 印 |
| 出席理事 | 田近 | 英一 | 印 |
| 出席理事 | 成瀬 | 元  | 印 |
| 出席理事 | 畠山 | 正恒 | 印 |
| 出席理事 | 濱野 | 洋三 | 印 |

出席理事 松本 淳 印

出席理事 渡邊 誠一郎 印